

旭をぐるっと一周り。楽しい!美味しい!おもしろい!

あさひ

尾張旭市観光協会
広報誌

Vol.3

2008年8月1日発行

発行元：尾張旭市観光協会
〒488-0801
尾張旭市東大道町原田2570-3
尾張旭市商工会館2階
TEL/FAX:0561)52-6500

TOP
NEWS

第5回 通常総会 が開催されました。

去る5月27日に開催致しました第5回通常総会も来賓（尾張旭市長、尾張旭市商工会長、尾張旭市市民生活部長、内田顧問）を迎え、42名（委任状出席者含む）の出席者のなか無事終了することが出来ました。

観光リクリエーション活動、国民生活の余暇活動の増大、真の豊かさへの要求などを背景に、今や生活に欠かせないものとして定着し、21世紀の中核的な産業の柱として、その重要性を増大させています。

尾張旭市においても、市内の未利用資源や既存の施設を有効利用した観光開発に取組み、市内外に「尾張旭市」のよさをPRするとともに、魅力ある街づくりを目指しています。当協会としても観光事業への取組みを通して魅力的な尾張旭づくりに努めてまいります。



来賓：谷口市長

平成20年度の主な事業内容

- 1) 地域活性化事業
尾張旭を市内外にPRしていくための各種観光地イベント事業の企画実施
- 2) さくらまつり事業
さくらまつりを通して近隣市民のコミュニケーションの場を提供し地域活性化を図る
- 3) 特産品PR事業
各種まつりやイベント等に積極的に参加し、特産品の紹介・販売を実施
- 4) おもてなし研修事業
郷土の歴史・文化及び先進地の視察・調査・研究
- 5) 特産品開発事業
当市のオリジナルブランドの特産品開発・研究に取組む
- 6) 観光案内所の設置事業
尾張旭のシンボルとしての観光案内所を構える為の準備を進め、当施設を拠点とした観光案内事業、観光地イベント事業などへの取組みについて研究を進めるとともに、観光事業の活性化を図る
- 7) 広報活動事業
上記事業の目的を達成する為の広報活動とともに、広報誌やホームページで、会員情報のPRに取組む



尾張旭市観光協会会長：赤川和夫

地域活性化・広報委員会もスタートしました。 7月14日(月)

この日は2つの委員会が合同で20年度事業の具体化について討論がなされました。

(出席委員者名)* 順不同

赤川和夫・成瀬範恭・坂田豊樹・水野義則・今井敦子・篠田一彦・荒川裕康(JA)・鶴見昌士・水野鐘太・清洲康友・野口淳・大島もえ



特産品紹介コーナー
お問合せは、観光協会にお気軽にどうぞ! 52-6500



尾張旭のいちじく畑 (価格 1個120円)
丹精込めて育てられた谷口農園の朝採りいちじくを
ジャムにして、やわらかいわらび餅で包みました。
日持ちのするお菓子なので郷土みやげにも最適です。
冷すとさらにおいしく召し上がれます。

取扱店 三好屋老泉 53-5880



いちじくフロマージュ (価格 1個150円)
尾張旭に特産「いちじく」を使った開発商品で
す。煮詰めたいちじくを味のアクセントに、じっ
くり焼き上げたスフレチーズケーキ。いちじくの
風味がチーズの味をより一層引き立てます。食べ
やすいプチサイズをご用意しました。

取扱店 (有)エミリー 54-0756

豆知識

城山公園のマメナシ

マメナシ(バラ科ナシ属)という野生のナシの原種が城山公園に自生しているのをご存知ですか?
マメナシ・アイナシは、愛知、岐阜、三重、長野のごく一部で自生地がありますが宅地造成などで減少し、その数はわずかなものとなっています。
尾張旭では城山公園長池周辺にあり、その希少性から市指定の天然記念物H15年10月1日に指定され保護されています。
秋にはかわいらしい小さな実をつけます。ウォーキングのついでに探してみはいかがでしょうか



黒川新聞店
黒川國夫



中日新聞
尾張旭販売店

こんにちは、観光協会の一員としてがんばっていきますので、今後ともよろしくお願いします



天野新聞店
天野博志



花村新聞店
花村利光



谷口新聞店
谷口久公



坂新聞店
坂 英生



梅田新聞店
梅田秀輝



新しく5名の方が入会されました。(順不同)
谷口農園 梅田新聞店 谷口新聞店
フォトフジヤ アルファシステム販売株

会員紹介コーナーに出てくださいる会員の方を募集しています。
観光協会事務局までご連絡ください。

新しい商品を企画したい!
アイデアを形にしたい!
地元貢献したい!



尾張旭をもっと元気なまちにしたい!

そんな方を大募集!

【会員及び会費】

1) 会員

普通会員・一般

尾張旭市内に住所を有する個人又は当該市内に事務所もしくは事業所を有する法人。(組合の法人を除く。)団体 尾張旭市内に事務所を有する団体。

賛助会員

前号以外の個人、法人又は団体。

2) 会費

区分	入会金	会費(年額)
普通会員	5,000円	5,000円
団体	30,000円	20,000円
賛助会員	20,000円	10,000円

詳しくは観光協会事務局までお問合せください。

編集後記

広報誌作成チーム
安藤繁樹・鈴木政臣・大島もえ・前田直貴・今井敦子

尾張旭にも観光協会があること。その中で当市の魅力をたくさんの人に知っていただきたいと元気に頑張っている人たちがいること。そして何より私たちの住むこの街にはステキな発見がいっぱいあること。を広報誌を通じてこれからも伝え続けていきます。

よろしく申し上げます(*^。^*)



城山公園さくらまつり

開催期間 4月1日(火)
~ 4月10日(木)



今年度から当協会がさくらまつりのイベント事業についても全面委託されることとなり、その1回目として4月6日日曜日にスカイワードあさひイベント広場にて”さくら葉餅つき”イベントを開催いたしました。さくら葉もちとは当協会のメンバーのアイデアによるもので、餅の中に香り高いさくら葉を練り込んで作り上げた、季節感あふれるほんのりさくらの香りが春らしいオリジナル創作餅です。前日から紅麹の色素で色を染めたもち米を次々とおよそ60kgを蒸し上げ、午後1時~と午後3時~の2回、会場に詰めかけた多くの人たちと餅つきを楽しみ、つき上がったさくら葉もちはずんざいとして各回先着200名の方にふるまわれました。また、他にも地元朝採れ新鮮野菜、特産品の販売、ストリートシンガー旁月今日人ライブも行われ、土日の人出はおよそ15,000人でさくらまつり至上最高の動員数となりました。ご協力いただいた多くのボランティアの皆さま、会員有志の皆さまお疲れ様でした。そしてありがとうございました。

新居大弘法まつり

・開催日 4月20日(日)

“新居の弘法さん”と親しまれる大弘法で恒例の大弘法まつりが行われ、当協会は地元特産品PR販売、朝採り新鮮野菜の販売をさせていただきました。中でもJAの新鮮野菜は、とりたての筍などが飛ぶように売れ、やはり地元の野菜はおいしいと、いつも大人気です。



2008年キヤノン大撮影会in名古屋

開催日 5月25日(日)

森林公園植物園にて全国からおおよそ1500名のカメラマンが一同に会する大撮影会が行われました。当協会は昨年より2回目の参加。全国からのお客様に当市のPRとおもてなしをさせていただきました。

愛知県写真材料商組合様、東春フード様、ボランティアのみなさま、また演舞披露でイベント盛上げていただきました尾張旭棒の手保存会のみなさまご協力有難うございました。



これからの

イベント情報

初なりいちじく収穫祭 (PRイベントのみ) 8月9日(土)

開催場所: 尾張旭市西野の町 谷口農園 *一般参加はありません

つけち夢まつり 8月14日(木)《テント出店》特産品PR販売

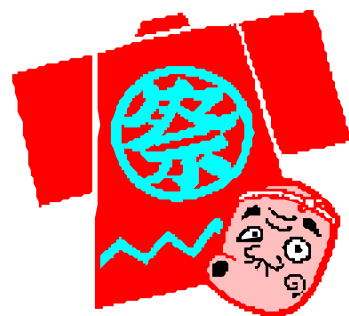
開催場所: 岐阜県中津川町付知町(道の駅)

ふれあい夏まつり 8月30日(土)

開催場所: 城山公園内 《テント出店》

市民祭 10月11日(土)12日(日)

開催場所: 城山公園内 《テント出店》特産品PR販売



イベントボランティアSTAFF大募集!

年間を通じて、観光協会が企画運営また既存の祭り参加など様々なイベントがあります。

(例) さくらまつり・ふれあい夏まつり・市民祭・どうだん亭等々...

観光協会会員のみならず、どなたでもスタッフとして参加していただくことが出来ます。老若男女は問いません!

参加する側もいいけれど、運営する側もなかなか楽しいものですよ。1回だけの参加でも構いません。自由に、楽しく、気の向くままにどうぞ! 興味のある方は是非お知らせ下さい。一緒にイベントを盛り上げましょう!!!

詳しくは事務局まで 0561-52-6500(AM9:00~12:00・PM1:00~4:00)

会員のみなさまへ



会長：赤川和夫

会員の皆さまには益々ご清祥の段お慶び申し上げます。

今年度は二つも目標として、観光協会の質の向上と特産品の開発です。質の向上は近年観光事業も多種多様になってきています。その中で当協会に何が出来るか、どのようなおもてなしをすべきか調査、研究を進める必要があると思います。先進地の視察、研究を深めてメイン事業であるさくらまつりを当協会らしいさくらまつりに造り上げていきたいと思っています。また、各種イベントの質の向上につなげていきたいと思っています。

特産品の開発は、地元の物とか文化、伝統、健康志向をつかって何か商品化が出来ないか、多くの地元の物を使う事で地域の活性化をはかり、尾張旭のPRにつなげていきたいと思っています。

どうか、皆さまのご参加、ご協力を宜しくお願い致します。

この度副会長として尾張旭市観光協会の運営、発展のためにお手伝いさせていただくことになりました。緑豊かな健康的で住みやすい大好きなこの町を、市民はもちろんのこと、市外の方にも幅広く紹介し、各種イベントを通して情報発信し、皆さんと共に盛上げていきたいと思っています。

副会長：成瀬範恭

「自分達の町は、自分達の手で」
会員、ボランティアの皆さん、ご協力お待ちしております。



顧問：服部正勝

平成15年11月に観光協会が設立。本年度で5年目を迎えることとなり、役員並びに会員の皆様の今日までのご努力に対し深く敬意を表する次第です。

設立以来、愛知万博・尾張旭駐車場での「観光案内」焼酎「だで」「いちじくワイン」「ポストカード」などの特産品の開発、シンボルマークの作成、市内外のイベントにおいての当市並びに特産品のPRなど、時代の要請に応えて多様な事業を展開され、数々の実績を残されてきました。

このような中で、地域において、観光協会への期待がますます高まってきていることから、更なる組織の変革を遂げ、当市における観光協会の使命を果たされるのが重要になるものと思います。

今後ともいままでも以上に会長を中心に役員・会員が一丸となって精進され、尾張旭市観光協会が、地域の観光産業の主力として活躍をされることを願っております。

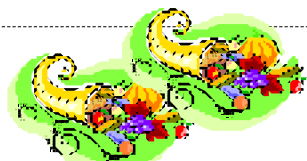
今、地域の活性化の大きな柱として観光振興が脚光を浴びておりますが、観光振興は地域の魅力をいかに高めるかというまちづくり全体に関わるテーマであります。



顧問：内田剣之助

観光の振興は地域経済の活性化に貢献できる有効な手段でありますので、今後とも、尾張旭市観光協会の進むべき方向性の精度を高めつつ、各種事業のブラッシュアップを図っていく必要があると思います。

古いものでも良いものはたくさんあるはず。それを現代的な視点から発掘し、新たに創造していくことが大切なことだと思います。



万博の前年に当時商工会長だった内田剣之助顧問に『尾張旭の特産焼酎を作りたい』と相談を持ちかけられたのが観光協会と関わるきっかけでした。瓶のかたち、ラベルのデザイン、題字など企画段階から会員の皆さん



地域活性化委員長：坂田豊樹

が熱心に議論され、出来上がった後はあちこちでPRしていただき、とても感銘を受けたことを覚えています。

その恩返しを少しでも出来ればと思い、これまで委員会活動に参加してまいりましたところ今年からはからず委員長を仰せつかりました。甚だ力不足ではありますが、尾張旭の活性化に少しでも役立てるよう努力していきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

広報を担当させて頂くようになって今年ではや5年目に入りました。これまで観光協会の活動では、万博をはじめとして様々な経験と出会いを与えて頂きました。

出会いとは「自分の目線のその先に待っている」ものであり、そこには必ず新しい発見があります。それが時として人であったり、尾張旭の魅力であったり...その出会いと発見のために、いつも前を向いて「先に一步踏み出す勇気と努力」を忘れずにいたいと思います。

これからも広報活動を通じて会員の皆さまのお役に立てるよう周りの素敵なスタッフと共に元気に情報発信していきますので、引き続きよろしくお願い致します。



広報委員長：今井敦子